

考える会ニュース

3

2008.11.1

発行 宇治小「小中一貫校」を考える会事務局
(連絡先)
宇城久教育会館内
TEL 44-6191

全国で小中一貫校は約20校

「宇治小型」は品川のたった2校

宇治小の敷地面積は21,557㎡。これは宇治市内の中学校で一番小さい榎島中学校(23,369㎡)よりもまだ狭い。榎島中学校の生徒数は330人。ここに1000人規模の小中一貫校ができたなら…?

計画によると2012年度開校、今の小学3年生が「7年生」第1号となる。

単純に子どもの人数だけでも窮屈な学校になることは想像できませんが、さらに小1から中3までの心身の発達段階に大きな違いがある子ども達が共同生活することを考えてみて下さい。

体育館、プール、音楽室などの特別教室はもちろん、運動場も小中それぞれ必要です。

2014年には1097人となる見込みです

(宇治小)
敷地面積 21,557㎡
生徒数 現在 810人 (26クラス)

(榎島中)
敷地面積 23,369㎡
生徒数 現在 330人 (10クラス)

全国の小中一貫校 (「考える会」調べ)

小規模一貫校	9校	学年1クラス 佐賀市立小中一貫北山校(73名)や箕面市立止々呂美小学校・中学校(64名)など
小中分離型一貫校	7校	建物・敷地が2つないし3つ 足立区興本扇学園(校舎2つ)やにしみたか学園(3つ)など 品川区立八潮学園は現在は校舎2つ
大規模一貫校	2校	東京都品川区立日野学園(936名) 東京都品川区立伊藤学園(1034名) 学校選択制を採用
大規模連携校	2校	川崎市立はるひの小学校・中学校(495名) 福岡市立照葉小中学校(小287名、中63名) 問い合わせると「連携校」と言っている

「一貫校」しか認めない進め方、NO! 2010年3月議会まで、時間をかけて論議を

宇治小建て替えのスケジュール

- 現在～11月中旬
素案を出し、意見を聞く
- 2008年度中に
基本設計案をまとめる
- 2009年1月～3月
基本設計を決定
- 2009年度中
詳細設計に入る
- 2010年2月
3月議会で建設費を提案
- 2010年から2012年
建設
- 2012年4月開校

拙速な結論は、将来に禍根を残す
30年先を見越した学校建設を

「小中一貫校はもう決まっているのでは?」と言われる方がおられます。しかし、先のスケジュールをご覧ください。現在は、まだ設計プランを決めている段階で、建設の最終決定は、2010年の3月議会となります。検討する時間はまだ充分あります。

本来なら、「一貫校プラン」と「小学校だけの建て替えプラン」を教育委員会は提示すべきでした。「一貫校ありき」で始まった今回の建て替えは、出発点から間違いです。

学校の統廃合との関係で始まった小中一貫校は今後どういう展開になっていくかは分かりません。伝統ある宇治小学校の建て替えに際して、取るべき方法ではありません。30年先の学校教育を見据えたとき、当たり前前の「充実した小学校としての建て替え」を選択すべきだと考えます。

「考える会」って?

宇治小が「小中一貫校」になる?まさに「寝耳に水」の新聞報道。「小中一貫校」って、一体どんな学校なんだろう?本当に子どもにとっていいものになるのか?そんな素朴な疑問から始まった私達の「考える会」の活動。

宇治小の先生達と保護者の有志が中心になって今まで懇談会を積み重ねてきました。先行する品川区の実態や宇治市の構想などを学ぶ中、いろいろな問題点が明らかになり、反対の声を上げていくことになりました。皆さんもぜひ一緒に考えましょ。

署名数

5,096筆

(10月30日時点)

